

# 針刺し事故防止・医療廃棄物の分別について

H19年1月23日(火)PM2:30～

H19年1月29日(月)PM2:30～

新館3階 事故防止対策委員会

# 針刺し事故事例



当院

外部(エイズ拠点病院の統計より)

# 当院の事例から

- 1) 勤務時間終了間近に、点滴の指示が出て、あわてていて、トレイに置いていた使用済みの翼状針に触れて刺してしまう。患者は、B型肝炎(+).

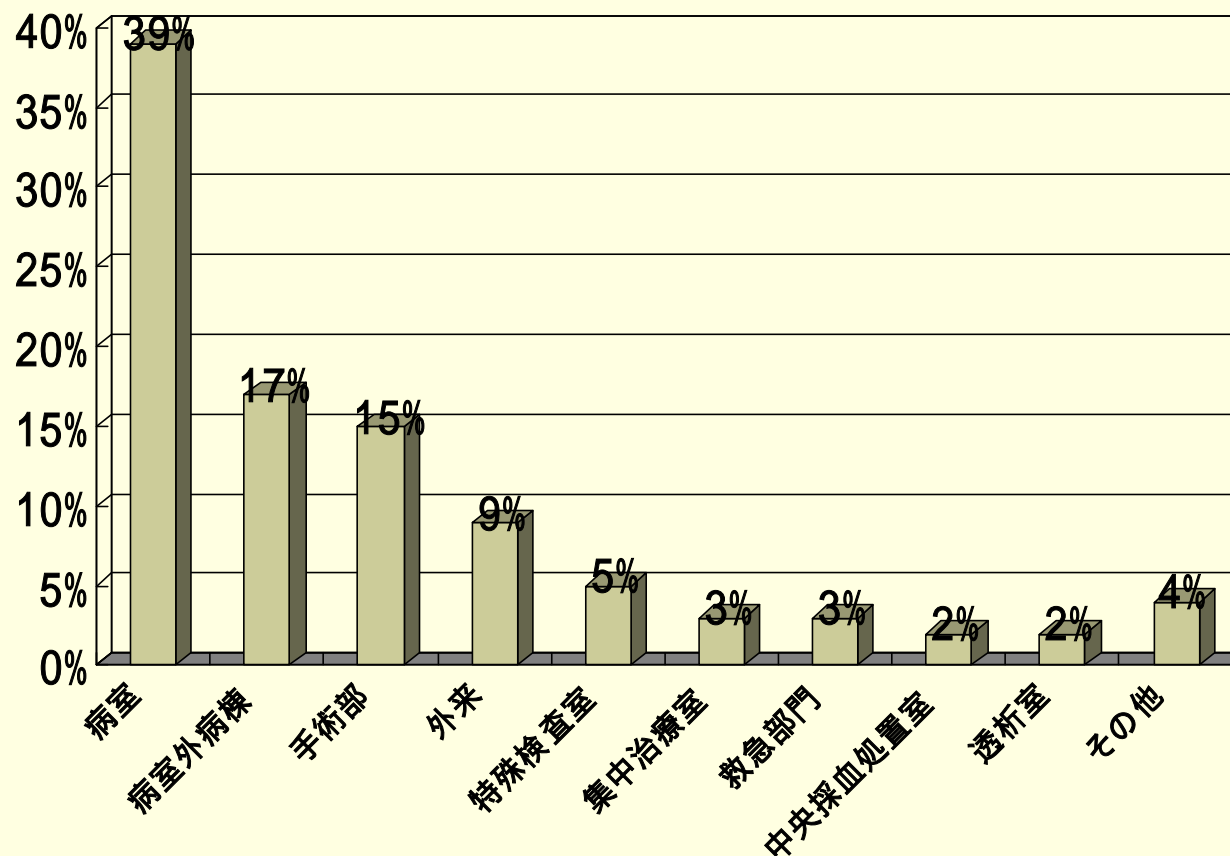
グロブリン投与、発症なし

針専用容器を持参し、トレイに入れない。

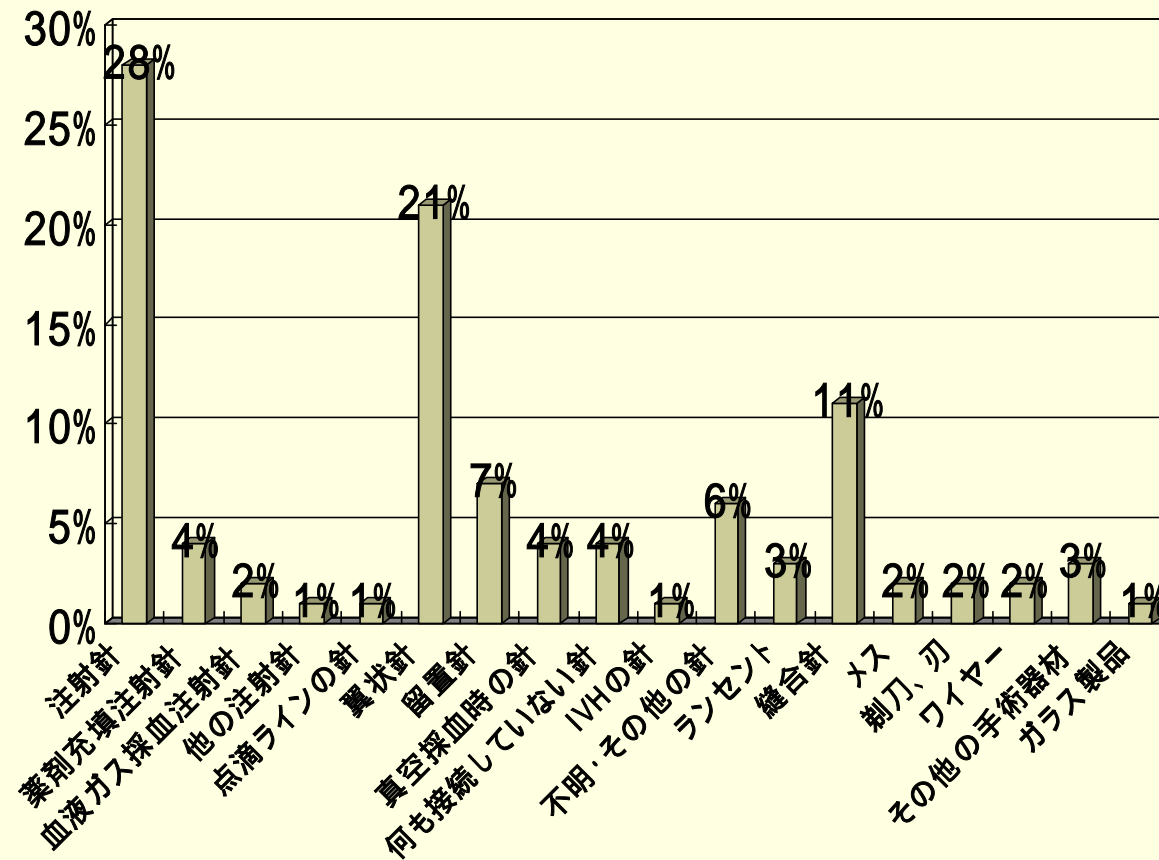
- 2) ナースステーションで廃棄物の分別をしていて、針を持っているところを後ろから押され刺してしまう。C型肝炎(+). 発症なし;1ヶ月後(-)

ベッドサイド持参、その場で専用容器に廃棄する。

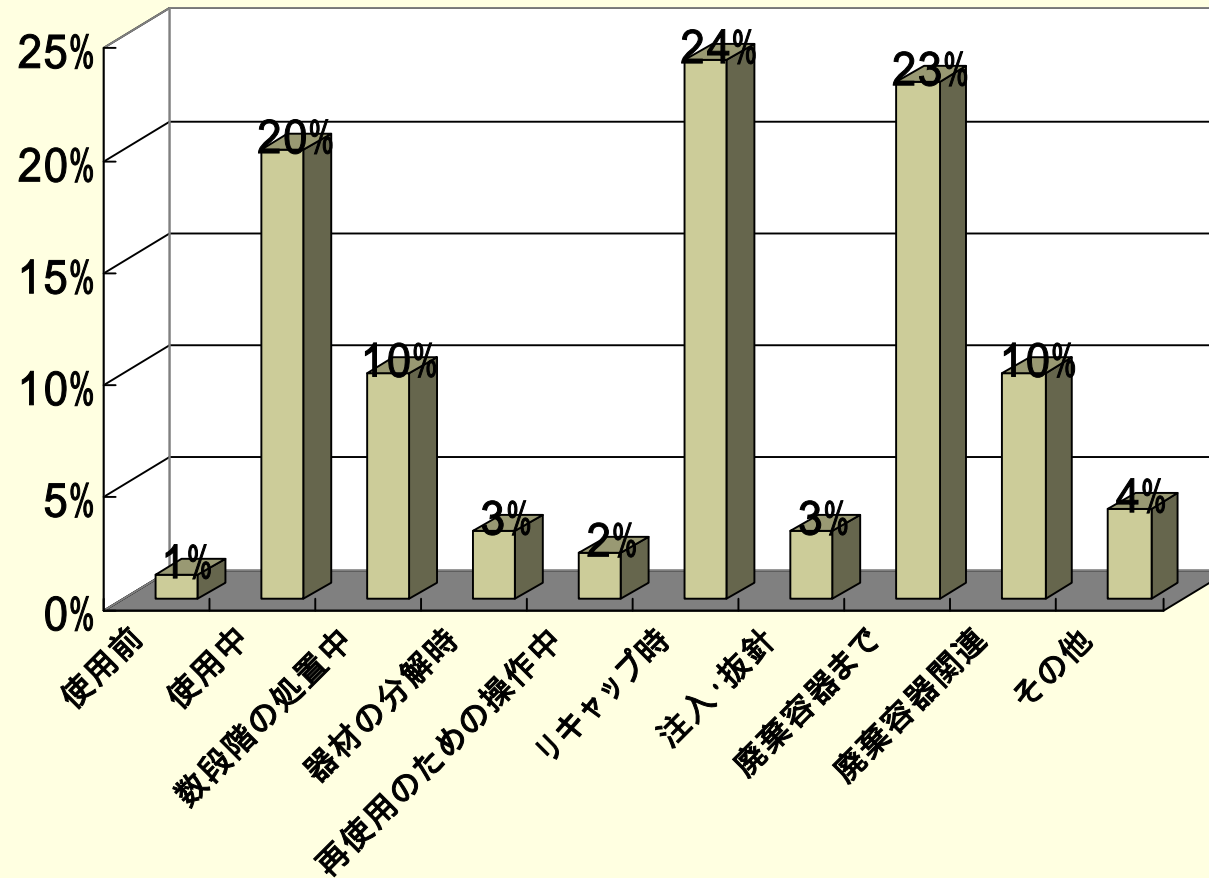
# 針刺し事故の発生場所(エイズ拠点 病院1996～2000) n=19791件



# 針刺しの原因器材 (エイズ拠点病院 1996 ~ 2000) n=18159件



# 針刺し事故状況(エイズ拠点病院 1996～2000) n=19712件

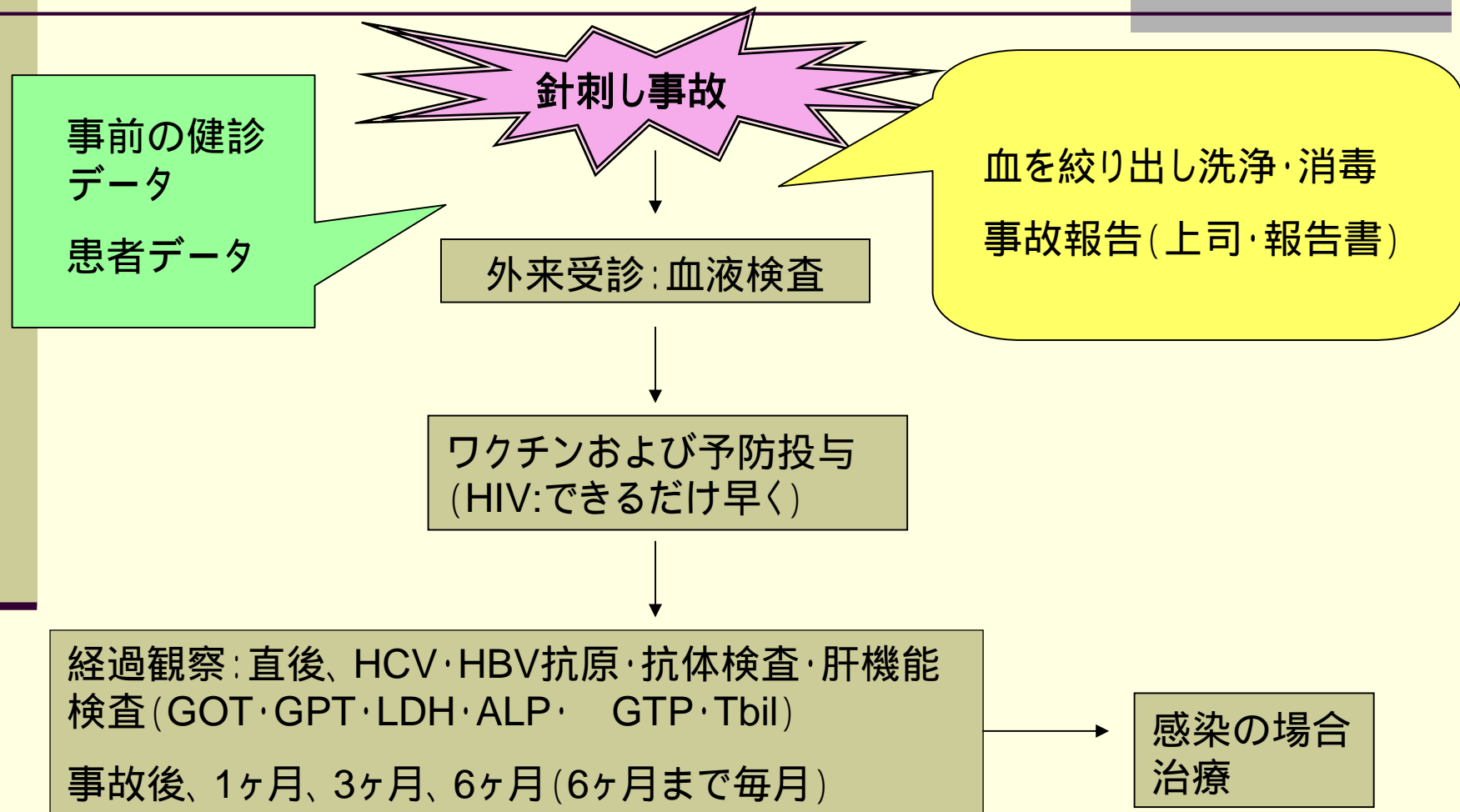


# 針の取扱いの原則

---

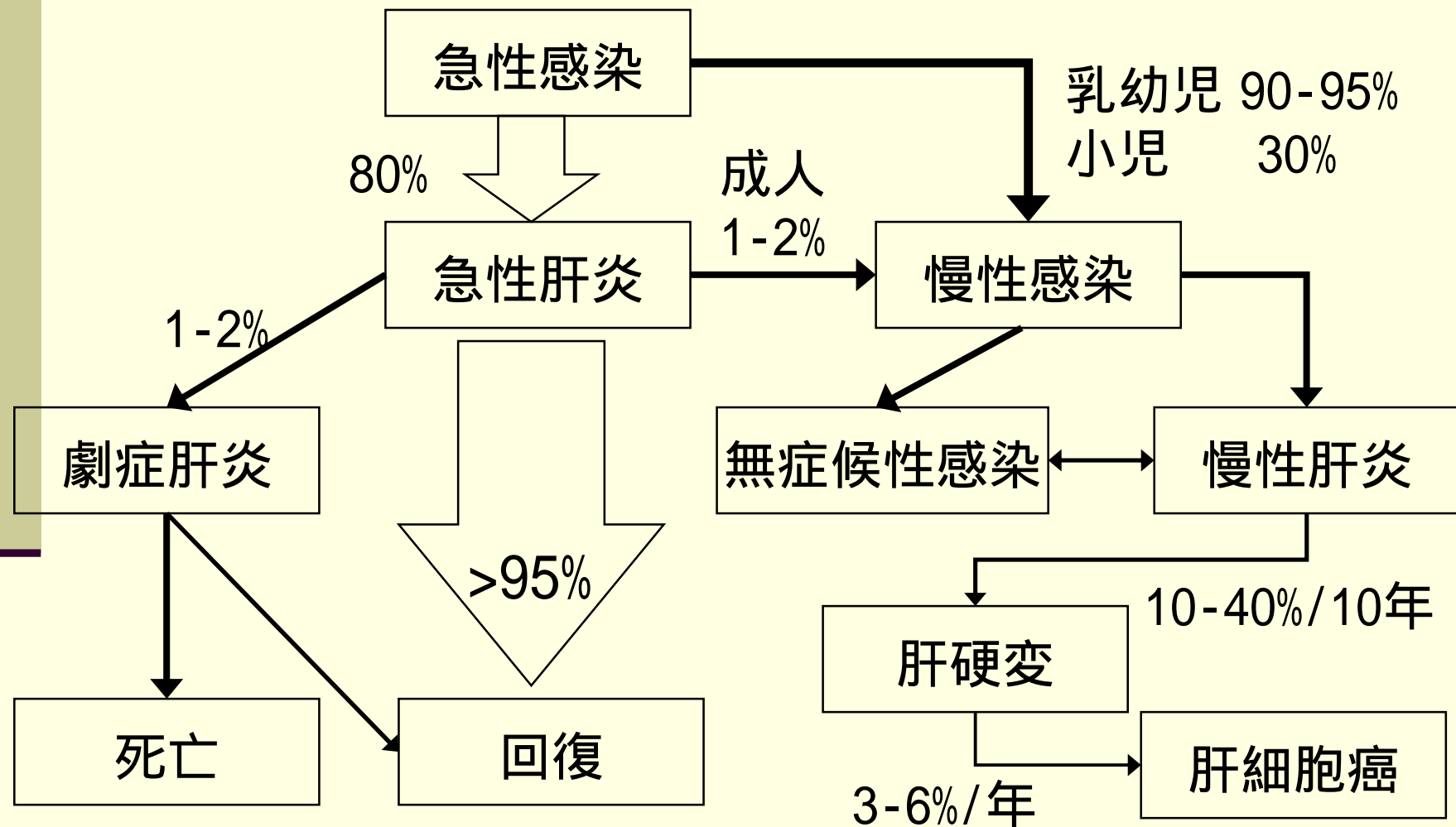
1. 針を含めて鋭利物は使用・未使用にかかわらず、感染性廃棄物(鋭利なもの)である。
2. 針を持って歩いてはいけない。
3. 針を人に手渡してはいけない。
4. 針をリキャップしてはいけない。
5. 使用済みの針はその場で責任を持って使用者自身で耐貫通性の針捨てBOXに廃棄しなければならない。
6. 針を扱う場合、できるだけ手袋を着用する。

# 針刺し事故時対応の流れ

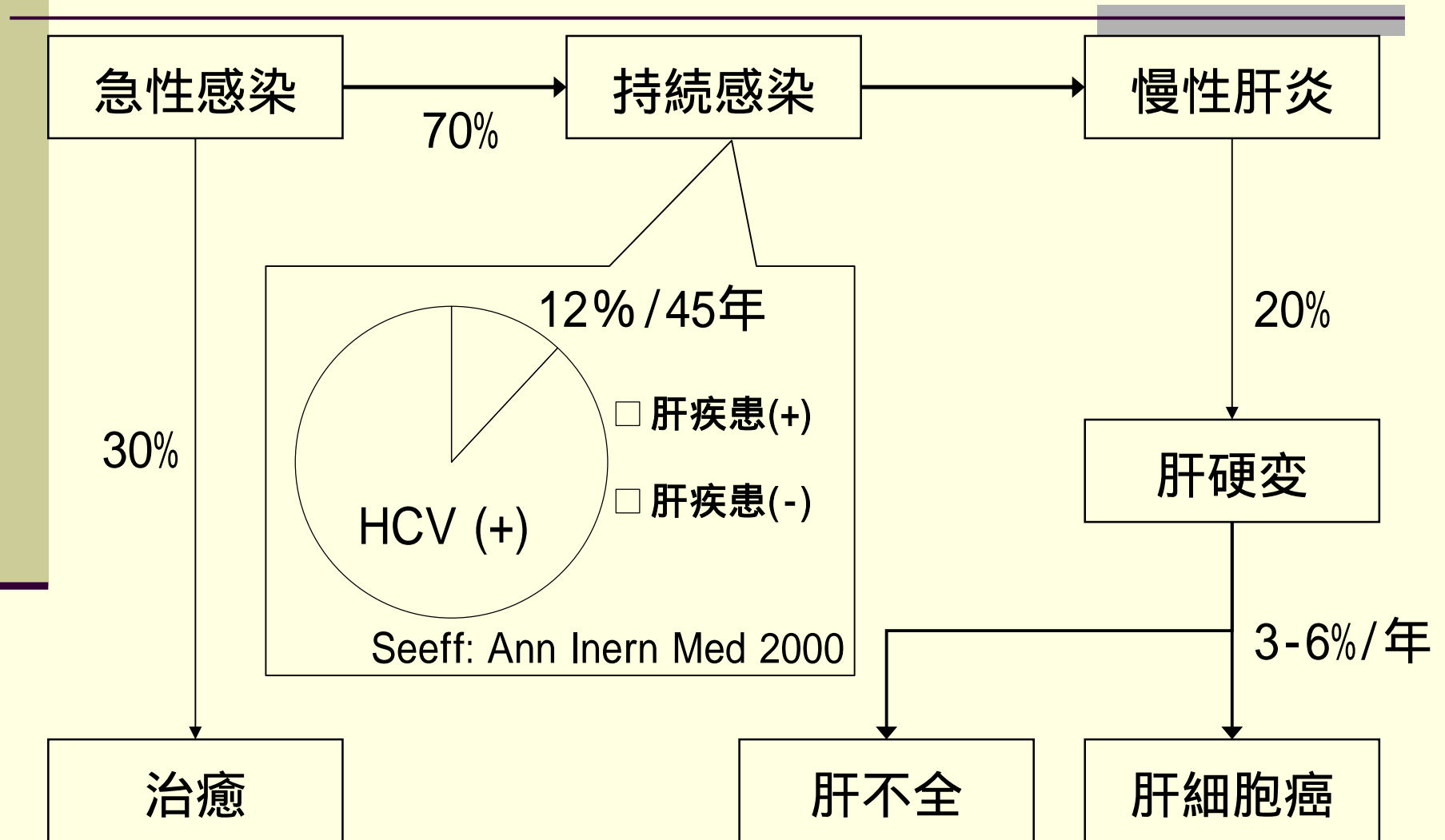




# HBV感染の臨床経過



# HCV感染の臨床経過



# 血液暴露による職業性感染

病原体	感染効率
HBV	20 ~ 40% (e抗原陽性例)
HCV	1.2 ~ 10%
HIV	0.1 ~ 0.4% (針刺し事故当たり)
サイトメガロウイルス	低率
エボラウイルス	高率
プリオン	不明

# 労災保険について

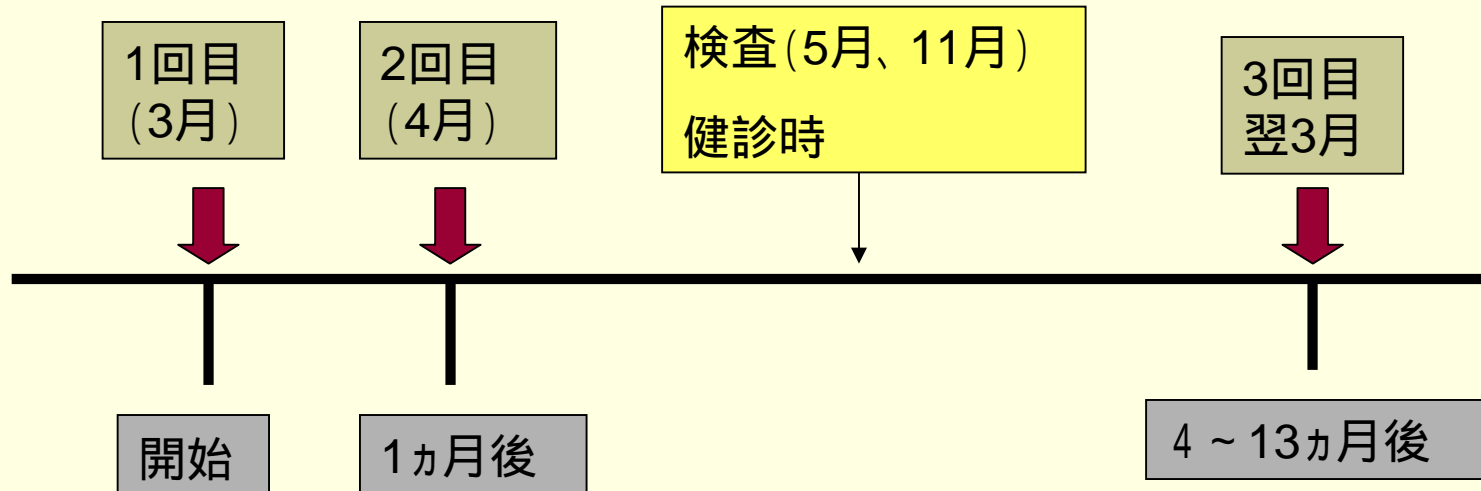
- 医療に伴う針刺し事故に関係する受傷者の検査や治療は労災保険で賄うことができます。
- B型、C型肝炎の針刺し事故に際しては、針を刺して治療をした時から労災の申請ができます。  
(受傷部位の消毒処置や抗体検査なども保険給付対象です。)
- 従って針刺し事故があったらすぐに、第3者の誰か(師長さんや医師)に事故があった事を報告しておくこと。事故が起こり、かなり時間が経って肝機能障害が出現した場合、後での労災指定は問題が生じる可能性がある。また事故が起こり、かなり時間が経ってからでは認定が困難な事もある。

# B型ワクチンの予防接種について

B型肝炎ワクチンとは？・・・B型肝炎ウイルス(HBV)の感染防御抗体(中和抗体)を生体に作らせる(免疫を獲得させる)ことを目的とするワクチンをB型肝炎ワクチン(HBワクチン)と呼びます。

# B型ワクチンの使い方について

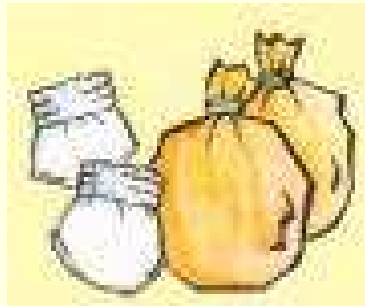
- 一般に、HBワクチンは、成人ではHBs抗原量に換算して1回量10 $\mu$ gを皮下に接種します。
- 開始、1ヵ月後、その1ヶ月以後にHBs抗体検査を行ってワクチン効果の有無を確かめます。その結果(-)であれば、3回目を接種します。
- HBワクチンが開発された当時に行われた治験では、このプログラムに従ってHBワクチンを接種した場合のHBs抗体獲得率は95%を超えるという成績が得られています。





# 医療廃棄物の分別

< 分別を徹底することで、ゴミを処分する人が混入針で誤刺する危険性やその他の感染事故を減少させる >



# 医療廃棄物とは

---

- 医療廃棄物とは、医療機関から排出される廃棄物のことです。
- 医療廃棄物の中には、感染性の病気の治療や検査に使用した注射針やガーゼなど、感染のおそれのある感染性廃棄物も含まれています。
- また、これ以外にも、プラスチックボトル、アンプルなども医療廃棄物になります。



# 医療廃棄物ガイドライン

---

- 医療廃棄物の処理については、「廃棄物処理法」及び「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」(平成4年衛環第234号厚生省通知)に基づいて処理することとされており、この度、平成16年3月16日に同マニュアルが改正され、当院も本手引きにそって、「医療廃棄物ガイドライン」を作成しました。

# 院内での取り扱い・回収・保管・運搬

---

- 使用後直ちに廃棄できるように、発生場所において感染性廃棄物と他の廃棄物の容器を設置する。
- 回収・保管に携わる者は、廃棄物が常に感染の可能性のあるものと認識し、適確かつ慎重に扱う。
- 容器は素手で触らず手袋、マスクを着用し回収する。
- 感染性廃棄物容器を取り扱う場合には、廃棄物を圧縮したり、容器を押しつぶしたりしない。

# メディカルボックス(ペールボックス)



- 鋭利なものを入れる。
- 注射針・メス・アンプル
- 注射器・点滴針・
- インシュリン注射・針
- ランセット
- アンプルのふた
- ガラス製点滴ボトル

# シャープセーフ



- 針のみ入れる。
- 8分目でふたをする。
- ふたを開けたり、中身を取り出しするのは、非常に危険！絶対しない。

# 感染性廃棄物 例)



医療材料



軟膏壺



包装紙



患者使用済み歯ブラシ



アルコール綿



処置後の廃棄物



薬の袋



薬容器・ボトル

# 感染性廃棄物 例)



消毒剤容器



座薬包装材



患者使用イルリガードル他



口腔ケア材料



消毒剤包装



医療材料包装材



マスク・手袋



ガーゼなど

# これは、一般ゴミ(事業者)です！



シリンジ・針の外紙箱  
薬の紙箱  
食品の容器  
紙・テッシュ など

# 終わり

---

- 分別の基準は、おおまかでは、どこの病院も同じですが、細かい部分では違います。
- よく確認をして、事故防止のために適切に廃棄をお願いします。

